

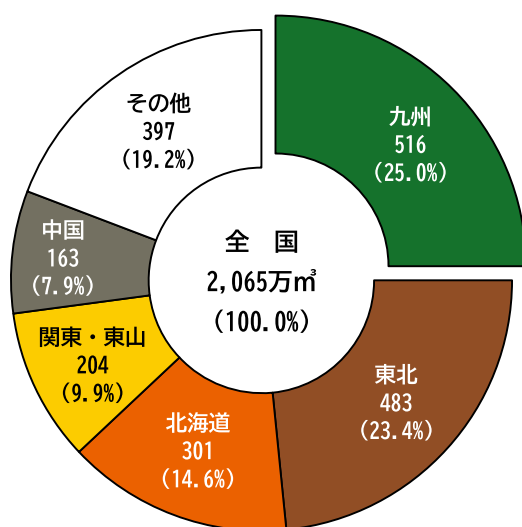
4. 素材生産 - Lumber Production -

九州の素材生産量は全国の25%。

令和5年における九州の素材生産量は516万 m^3 で、全国の25.0%を占めています。

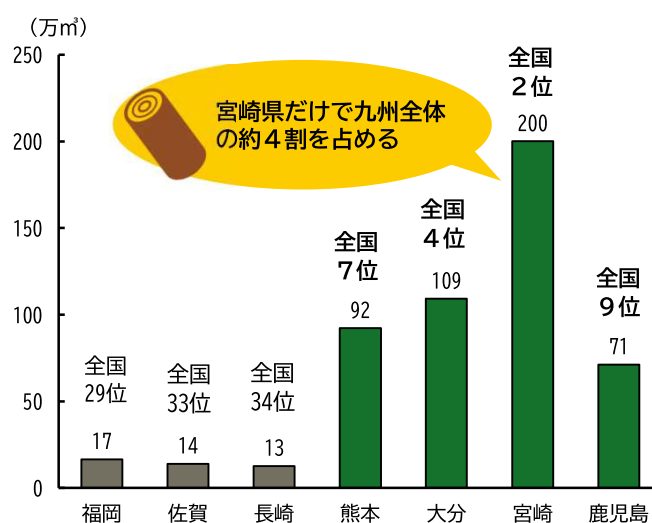
県別にみると、宮崎県が200万 m^3 （全国2位）で最も素材生産量が多く、次いで大分県が109万 m^3 （同4位）、熊本県が92万 m^3 （同7位）、鹿児島県が71万 m^3 （同9位）と続いており、九州では4県が全国上位10位以内に位置しています。

農業地域別 素材生産量（令和5年）



資料：農林水産省統計部「木材需給報告書」（以下同じ）

九州県別 素材生産量（令和5年）

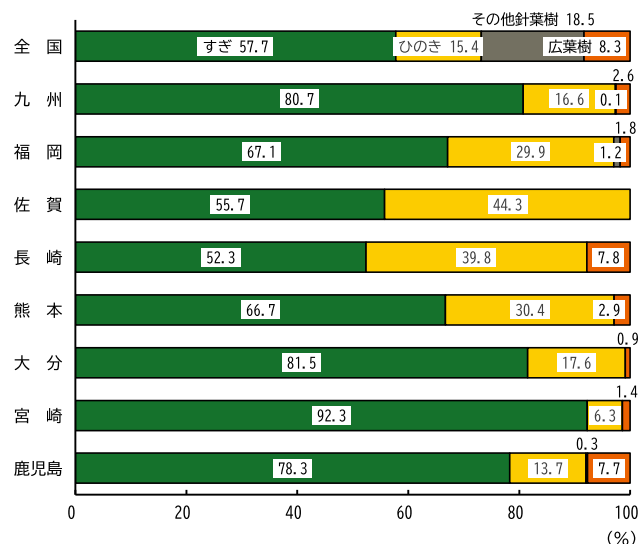


九州の素材生産は全国に比べ「すぎ」の割合が高い。

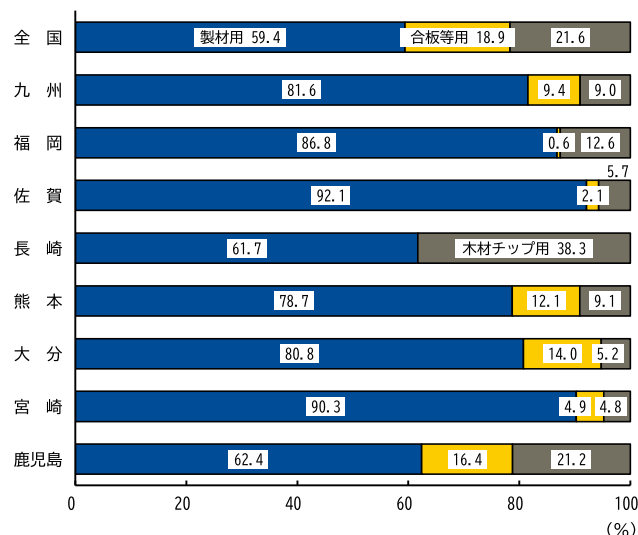
九州の素材生産量を樹種別にみると、全国に比べ「すぎ」の割合が高く全体の約80%を占めており、「ひのき」を合わせると全体の95%以上を占めます。

また、部門別にみると、県によってバラつきはあるものの、全ての県において全国に比べ「製材用」の割合が高い傾向にあります。

樹種別 素材生産量（令和5年）



部門別 素材生産量（令和5年）



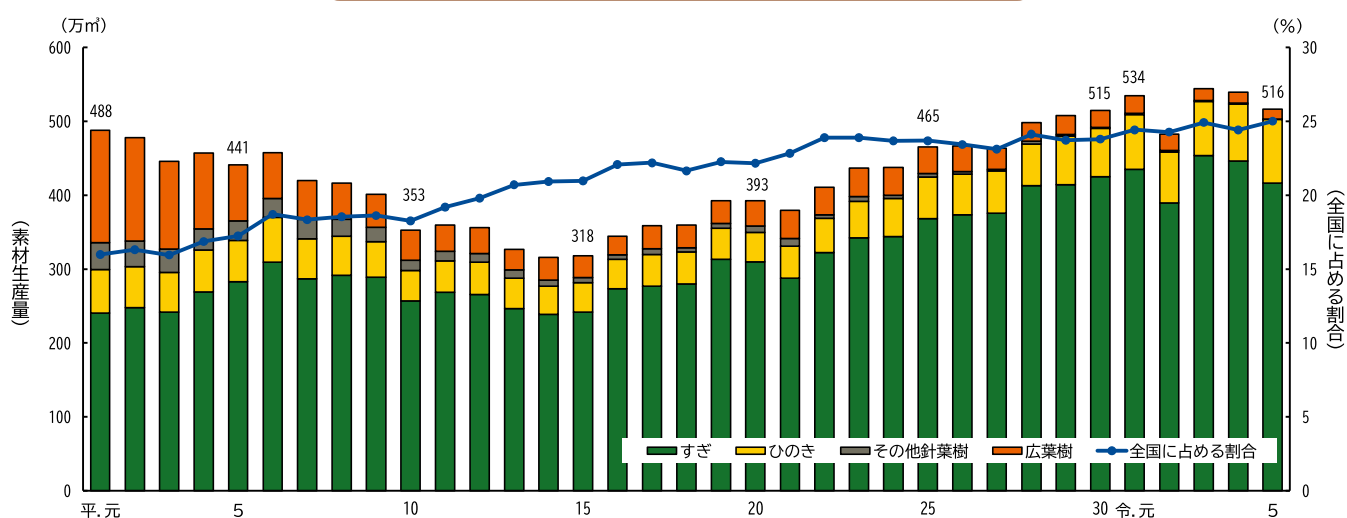
4. 素材生産（つづき）

九州の素材生産量は近年増加傾向で推移。

九州の素材生産量の推移をみると、平成14年までは減少傾向で推移していましたが、その後は増加傾向で推移しています。

一方で、全国に占める割合の推移をみると、素材生産量の推移と異なり、常に上昇傾向で推移しており、平成元年の16.0%から令和5年は25.0%にまで上昇しました。

素材生産量及び全国に占める割合の推移（九州）



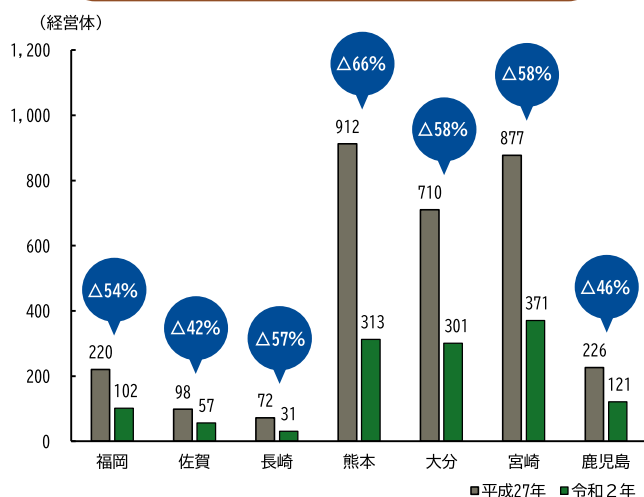
資料：農林水産省統計部「木材需給報告書」

経営体数が減少する一方で、1経営体当たりの素材生産量は大幅に増加。

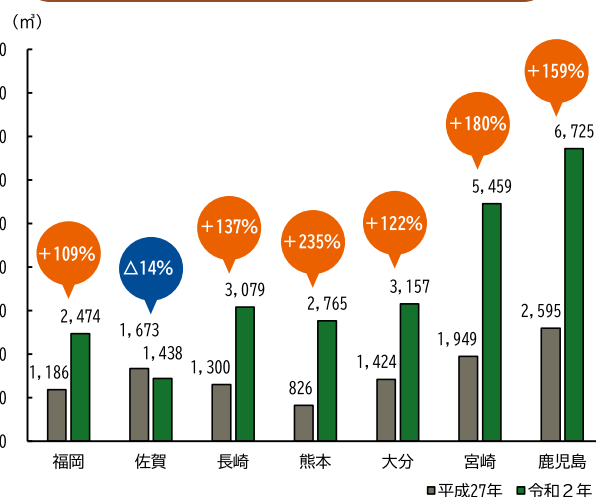
九州の素材生産量を行った経営体数の変化（平成27年 → 令和2年）をみると、全ての県において減少しています。

一方で、1経営体当たりの素材生産量をみると、佐賀県を除いて大幅に増加しており、特に、熊本県、宮崎県及び鹿児島県については150%を超える増加率となっています。

素材生産を行った経営体数の動き



1経営体当たりの素材生産量の動き



資料：農林水産省統計部「農林業センサス」